

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	令和８年度第２回嬉野市総合計画審議会・総合戦略推進委員会会議録		
開催日時	令和８年６月３日(木) ９：３０～１１：００		
開催場所	嬉野市役所 塩田庁舎３階 ３－２会議室		
会議の公開の可否	Ⓐ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	０人
公開不可・一部不可 の場合はその理由			
出席者	委員 (敬称略)	戸田順一郎、深村頌子、坂口典子、宮崎憲太郎、谷山佳世、 久野裕子、山口輝、一ノ瀬稔、廣琢也	
	事務局	政策部長、企画政策課長、副課長、主査	
	その他		
会議の議題	① 開会 ② 委嘱状交付 ③ 協議事項 （１）第３次嬉野市総合計画実施計画（＝嬉野市地方創生に関する総合 戦略）案の検討 ④ 閉会		
配布資料	① 令和８年度第１回嬉野市総合計画審議会・総合戦略推進委員会次第 ② 第３次嬉野市総合計画案 ③ 嬉野市地方創生に関する総合戦略案		
審議等の内容	別紙のとおり		

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	1. 第3次嬉野市総合計画実施計画（＝嬉野市地方創生に関する総合戦略）案の検討		
内 容	1. 事務局より説明。委員質問・事務局回答、委員の意見等		
審議経過	事務局	1. 第3次嬉野市総合計画実施計画 （＝嬉野市地方創生に関する総合戦略）案の検討 （第3次嬉野市総合計画実施計画案について説明）	
	委員	観光消費額の目標値が、他の指標に比べて非常に細かい。これだけの積み上げ根拠があるのか。また、指標としてここまで細かく設定するものなのか。	
	事務局	観光戦略の中で定められた数値を引用しているが、現状と照らしてここまで詳細な数字が必要か、再度確認させていただく。	
	委員	新規就農者の目標が「4人から3人」となっているのは消極的ではないか。方向性と指標がマッチしていない印象を受ける。	
	事務局	基準年が特異的に多かったためコンスタントな数値を設定したが、平均値を基準値とするか、もしくは実態に合う指標がないか再度担当課と協議する。	
	委員	「若者・女性が働きたいと思える雇用環境」という方向性に対し、KPIが「市内事業者数」なのはズレを感じる。女性の市内就業率など、もう少し細かな指標は取れないのか。	
	事務局	若者に特化した統計が乏しく、まずは事業者数を増やすという視点で設定した。男女別などの統計データが活用できないか検討したい。	
	委員	男性の育休取得率などは指標としてどうか。そういった指標も女性の働き方につながると思う。	
	事務局	市役所では、育休取得率が増えている。	
	委員	公務員は制度としてとれるようになっていると思うが、民間企業等は進んでいないと思う。	

委員	総合計画は10年だが戦略は5年更新とのこと。5年後に目標を下げた場合、それがまた基準になるのか。最終的に10年後にどうなりたいかという、大元の目標に向けた評価が必要ではないか。
事務局	5年ごとに実績に基づいて見直しを行うが、基本的には各分野の個別戦略（観光戦略等）に基づいた目標値を設定している。
委員	地元企業に就職できるのが一番。事業者数を増やすだけでなく、働きやすさや職場環境の整備といった「ソフト面」の支援も重要ではないか。
事務局	非常に重要な視点と思う。事業承継や雇用機会の創出だけでなく、広い意味での「環境整備」として、働きやすさの向上なども施策に盛り込めるか検討する。
委員	今年はお茶の価格が上がったが、人手不足で買い取り側が対応しきれず、結局他の農家に回さざるを得ない等の危機的な状況を聞いた。ブランド化で手の届かない値段になり、今後、市民が飲めなくなる懸念もある。9ページの「ブランド化」の意図と現場の不安がズレているのではないか。
事務局	現場の切実な声として重く受け止める。「ブランド化」が何を指すのか、担い手への継承も含めてうれしの茶振興課と内容を確認する。
委員	急に担い手がいなくなると放置するしかない。そのような相談も増えているので、兼業農家でも続けていけるような、機械の共同利用や収穫支援の仕組みを考えてほしい。
委員	認定農業者（専業）だけでなく、兼業農家への支援も含めて担当課に確認し、施策への反映を検討する。
委員	輸出向けの栽培面積を広げる目標があるが、海外の「碾茶（抹茶）」ニーズに対応するものか。
事務局	海外からのニーズは高く、大きな碾茶工場の建設計画も含まれている。指標については、煎茶の輸出分も含めた面積として設定している。
委員	「商工会や金融機関との連携」とあるが、現段階では公式な動きにはなっていない。金融機関としても独自にマッチングや事業承継に取り組んでいるが、行政や商工会との協力関係をより具体的に深めていきたい。
事務局	非常にありがたい提案。商工担当等と合わせて連携の形を協議したい。

	委員	4 ページの「総花的な（推進）」という言葉は、ばら撒きのようなイメージで印象が良くない。他の言葉に変えてはどうか。
	事務局	全分野を網羅するという意味で使っていたが、戦略の「重点化」「優先順位の明確化」という意図が伝わる表現に修正する。
	議長	「市民 1 人当たりの稼ぐ力」の算出式（所得金額÷納税義務者数）は「市民 1 人当たり」ではなく「納税者 1 人当たり」ではないか。また、目標値の上げ幅が物価上昇分を考慮すると実質的に上がっていないように見える。
	事務局	数値の妥当性や、分母を「総人口」や「就業者数」にするなど、より適切な算出方法・名称を含めて、実質的な向上を測れる指標になるよう再検討する。
その他	今後のスケジュール・委員会予定について説明。6 月中旬よりパブリックコメントを実施予定。一部「調整中」の項目も含めて公開し、広く意見を募る。次回委員会は令和 8 年 7 月 23 日（木）9:30～、塩田庁舎の 3-2 会議室にて総合計画・総合戦略について協議・答申予定。	